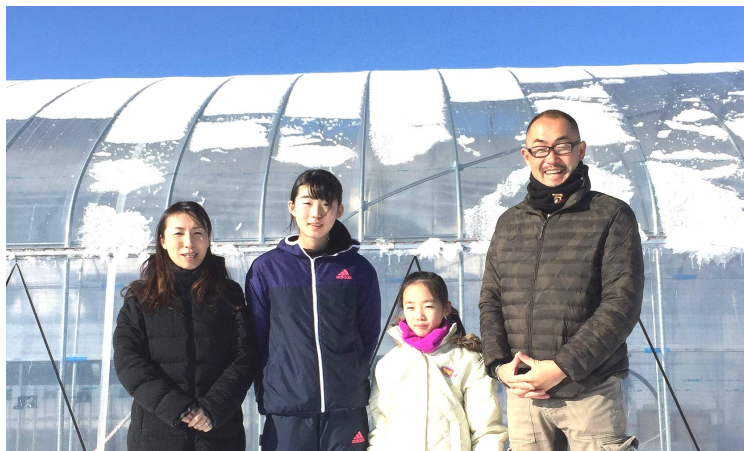


マルセイニュース 12月号

発行日 2016/12/22

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目
〒057-0005 TEL0146-22-5123

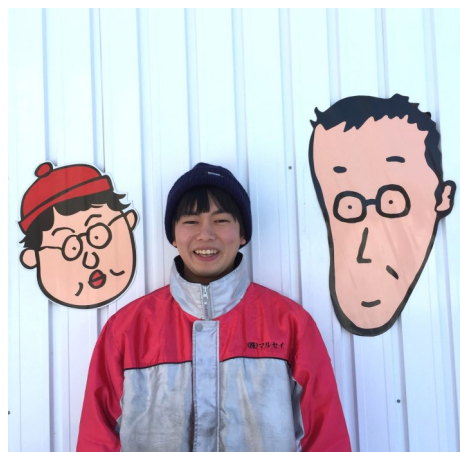


横浜から移住して来た加藤純さん(44才)。いちごの研修が来年3月で終わると、来春からは、いよいよいちご農家としてデビューします！お父さんのビニールハウスを背景に、奥様の美穂さん、長女のアまちゃん(15才)、次女のアまちゃん(9才)と一緒に笑顔の家族写真です。

堺町東2丁目に7月にオープンしたラーメン店「八雲」さん。「浦河いいです！」と14年ぶりに浦河にUターンした高木幸治さん、真矢さんご夫妻が成田愛(めぐみ)さんと一緒に笑顔で迎えてくれます。(日曜定休 ☎ 22-5471)



2017年も！笑顔の浦河町に、福来る～



3か月になった咲希(さき)ちゃんを抱っこしたかったので、ちょっとすねちゃったのは碧真(あおま)くん5才。長女・早笑(さえ)ちゃん7才、次女・心晴(こはる)ちゃん2才の4人兄弟です。クリスマスが楽しみです。^^ 小野里允宏、真紀さんご夫妻宅にて。

日々、本当に頑張っています！マルセイの代表は、最年少のケイスケくん。社長とマックスのステッカーに挟まれて満面の笑顔です。楽しく働ける会社でありますように！来年もみんなで頑張ろうね。

太極拳の指導者の一人として活躍中の上松笑子さん(81才)。日本舞踊で鍛えた足腰の強さが今も健在！11/2に東京で開催された「太極拳全国交流大会」には浦河から30名の仲間と一緒に参加されました。



なの花薬局・荻伏店では二反田龍彦さんの笑顔に出会えます。馬と一緒に暮らしを実現しに浦河へ移住して20年。2頭だった飼馬は今では3頭。奥様共々、大好きな馬との生活を楽しくいらっやいます。



わくわく広場の『浦河塾カフェ』にて。カジュアルに商品開発した2種類のすずあかねジュースを販売していたのは『ネカアーズ』の仲間たち。三浦さん、ごまさん、ともえさん、ますたー4人のなんとも楽しそうな笑顔でした。



帰省ですか？(笑) 12/11日のわくわく広場では星明子さんの笑顔を発見。浦河大好き！と札幌からワークショップの出店中でした。大崎さん、小林さん、濱野谷さんと海斗くんは、ステキなサンキャッチャーを製作中でした★

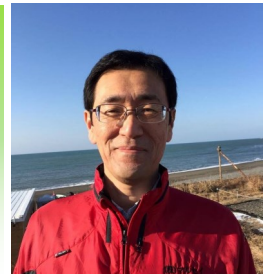
1、たくさんの『福』が皆さまの元に届きますように！今年も笑顔いっぱいの表紙で締めくくられます。ご登場頂いた皆さまに感謝申し上げます。

今年もご利用ありがとうございました！



2016年も残すところあと少し。おかげさまで今年も一年間、大過なく送ることができそうです。これも、皆さまの日頃からのご利用のおかげと改めて感謝申し上げます。

2017年も マルセイをよろしく願い申し上げます



**(株)マルセイ代表取締役社長
小山直 (社長)**

今年も事故が無い一年を送れたことを、皆様のおかげと感謝申し上げます。毎年思うことながら、今年もあつという間の一年でした。そしていろいろなことがあつた年でもありました。思い浮かぶままに記してみます。

● パワーゲート付トラックを 入れ替えました

中古で購入して12年使いました。いよいよ修理も困難になり入れ替えることにしました。よく働いてくれたクルマです。お疲れ様。次に来るクルマも長く乗る予定です。

● 氣田圭祐くんが入社しました。

恭平君の弟です。4月末から働いてくれたのですが、まだ一年たっていないんですね。すっかり会社に馴染んでくれていきます。いつも走っています。走つたら倒れそうなたたしは、若いってスゴいなあと感心してしまいます。

● 氣田恭平くん成長中!!

機械いじりが好きなだけあつて、めざましい進歩を続けています。とにかく仕事がいねいど慎重です。ガスや油を扱う仕事は早ければいいというものではありません。危険物を扱うには向いている性格です。来年も楽しみます。

● 寺沢さんが退職しました

正直に勝るものなし。わたしが寺沢さんから習ったことです。「実力以上に見せかけたら、あとでつじつまが合わなくなるぞ(笑)。実力なんて周りにはバレてるし(笑)」。この言葉を死ぬまで心に留めたいです。寺さん、ありがとう！

まだまだいろいろとあつたのですが、この一年を社長として一言で言い表すと、**お金の出ていった年**でした。なので来年は一層頑張らなければいけません。どうぞ、みなさまのご愛顧をよろしく願います。よいお年をお迎えください。ありがとうございました。

経理・その他

黒澤さゆり(ばわふる)



今年もご愛顧いただきまして、ありがとうございました。支えていただいた皆様に感謝申し上げます。今年、もう一人若者が増えたマルセイです。若者がいることは嬉しいことです。この若者達も、マルセイをご利用いただくお客様のお役に立てるよう育てるのも私達年配者の役割と思います。自分自身も至らないことが多々ある中で難しいことですが、皆様からのご依頼やご意見を元に、若者達と一緒にマルセイも更に成長し続けたいと思っております。来年も、『チーム・マルセイ』はパワーアップして頑張りますので宜しくお願いたします。皆様、お元気で良いお年をお迎え下さい。

マルセイニュース編集・その他

小山祥子(マックス)



今年もたくさんのお客様にマルセイをご利用いただき、お陰さまで無事に新年を迎えることができます。日頃のご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
マルセイニュースの編集を担当して12年が過ぎました。小さな燃料店で働くわたしたちの奮闘ぶりや、わたしたちがお伝えできる浦河の情報そして日々感じたことなどをお伝えしています。こうして毎月発行を続けて来たのもマルセイを暖かく見守り支えて下さる方々がいるおかげです。感謝の気持ちを忘れることなく、来年も頑張ります。良いお年を♪

メンテナンス・灯油配送他・その他

氣田恭平(恭平くん)



マルセイに入社して2年が過ぎました。たくさんのお客様から声をかけていただき、応援していただきながら仕事をさせていただいています。ありがとうございます。今年、今年はストーブの分解整備など、メンテナンスの仕事を中心に取り組んで来ました。自分はこの仕事が好きです。来年はもっと色々なものを整備できるように頑張ります！

廃棄物収集運搬・灯油配送・その他

氣田圭佑(ケイスケくん)



「今年の春に入社してから、周りの皆さんに支えられて今日までやってこれました。来年は整備や資格の取得にも挑戦してもっと頑張ります！」とマルセイ最年少のケイスケくん25才です。兄の恭平くんとは本当に仲良しのふたり兄弟で、優しい二人の会話を聞いているだけでも心が癒されるマルセイです。初めての冬道の運転も頑張っています！

廃棄物収集運搬・その他

北野原英司(エイジくん)



今年も無遅刻・無欠勤で頑張ってくれたエイジくん。マルセイの地道な日々の仕事や仲間を黙々と支えてくれる大切な存在です。今年の夏は、週末も氣田兄弟と一緒に『マルセイ釣りクラブ』のみんなと、釣りも楽しみましたね。優しく頼りになるお兄さんのような存在のエイジくんです。



年末年始に家を空ける方、氷点下の気温が続くような日・・・

燃烧機器の凍結にご用心！



風呂釜の凍結破損個所です

12月中旬の厳しい寒さの週明けに出社すると、マルセイの水道管が凍結していました。もちろん水落としはしていましたが、それでも水道管の中に残った水が凍結してしまふことがあります。この冬も油断大敵です。

年末年始は実家へ帰省されるなど、数日家を空けるお宅も多いですね。その場合は、特にしっかりと水落としをしてお出かけください。水道だけでなく、風呂釜や給湯器などの水抜きもお忘れなく。今月もすでに、風呂釜を凍結させてしまい冬ならではの破損修理の仕事も数件ありました。



例年だと、1月2月の大寒を迎えてからが給湯

器などを凍結させてしまうことが多いです。冬本番へ向かうこれからは、天気予報に注意をしながら凍結防止を忘れないようにしましょう。

師走を迎えて頑張っています！

日頃からマルセイのガス及び灯油をご利用下さるお客様、ありがとうございます。実感がないとはいえ、もうすぐ迎えるお正月を前にいよいよ師走の灯油配送に追われる毎日です。



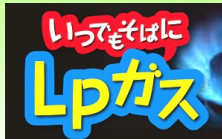
力持ちの恭平くんに大いに助けられながら、社長も頑張っています！



冬本番！灯油の配送に忙しい毎日です。そんな中高齢の方から、年内にと希望される急な片付け仕事のご相談がありました。日が短いこともあり、冬の片付け仕事は時間調整も少し大変。でも、人手や時間をやりくりして頑張りました。これで、スッキリとした気持ちで新年を迎えられますので、私たちも頑張ったかがありました。

冷え込んだ今月は、古いストーブの不具合や故障の相談が相次ぎました。ダメになるまで使ってから買い換えようか。そう思いながら使っている古いストーブは、分解整備に出すのはためられますよね。寒さの本番はこれからです。ストーブの不具合は早めに見つけて、早めに適切な対応をお勧めします。

さてさて、年末までは少々忙しい日々が続きます。こんな時こそ事故のないよう安全により気を付けて、気を引き締めて頑張ります！



「いつでもそばにLPガス 2016キャンペーン」 当選、おめでとうございます！

3名のお客様が
当選されました！



今年度のLPガスキャンペーンに、マルセイのお客様の中から3名の方が当選されました。おめでとうございます！今回は皆さんそろってB賞の当選。早速、LPガス協会からプレゼントされる『お米券』をお届けに伺いました。

「応募したことも忘れていたけどうれいすね。」と写真で登場してくださいましたのは、林淑枝さんと愛ネコのミーちゃんです。「当選なんて、これが初めてです。」と藤本チエ子さんも大変喜んで下さいました。「お米券！ほんと？」と三浦禎子さん。当選の秘訣かな？皆さん揃って応募したことは忘れていたようでしたよ。(笑)

残念ながら、今年も特賞当選者はいませんでした。来年こそは特賞の一万円を当てていただきたい！みなさん、来年もやっばり、先ずは応募ですよ！



創業84年の歴史を持つ平田染工場がこれまで作った中でも3m×4.5mは最大サイズ！11月末から平田貴敬さんが染めていたのは、三重県で進水されるカツオ漁船に飾られる特大サイズの見事な大漁旗でした。あまりにも大きいので、写真撮影もファミリースポーツセンターで^^ それにしても、美しい大漁旗ですね。

台湾や香港の人も大喜び！

「うらかわの観光」を応援する確かな技術！



台湾と香港で発行されている旅行雑誌とガイドブックに紹介されている浦河の観光情報です。浦河観光協会で見せていただきました。

自分で染めた作品を激写するみなさん。歴史を感じる染工場に足を踏み入れただけで感動することまちがいないし。

魚のさばき方ならお任せ下さい！なんてつたって、池田さんは、『磯場屋学校』の校長先生なんです！

「うらかわ観光協会」を訪れていた浦高3年生と教員の杉山晴美さん。卒業後、大針早恵さんは郵便局に就職し服部悠充さんは実家の酪農業に取り組みます。地元に残る若者が学びにきてうれしそうな中川さん(観光協会)でした。



「馬は理想のセラピスト2016」

～乗馬療育ってなあに？～ シンポジウム in 浦河

〈主催〉うらかわ乗馬療育ネットワーク 11月28日(月)19:00～21:00 浦河町ふれあい会館(東町)



「乗馬療育」を実際に必要としている人がもつと利用できるようになりまますように、浦河の乗馬療育継続のために日々奔走努力しているうらかわ乗馬療育ネットワークの皆さん、理解や応援の輪を広げながらこれからも頑張ってください！

129名の参加者中およそ7割が20代～40代の若い人で、日高管内の他に東京や帯広から来た方もいました。参加理由の多くが、馬に関する取り組み及び、乗馬療育の取り組みに興味があったから。終了後のアンケートには、「もっとお話を聞きたかった」「来年以降も、ぜひ続けてほしい」「関わる機会があれば関わってみたい」「実際に見学、体験してみたい」などたくさん感想が。さらに、「乗馬療育の場がもっと広く知られるように頑張ってください」「全国から人が集まる、息の長い取り組みを応援しています。頑張ってください！」などの応援メッセージもたくさん書かれていたそうです。

昨年に続き開催された注目のシンポジウムです。浦河町の「乗馬療育」の取り組みと今後についてのお話に加え、馬のスペシャリストであるホースコミュニティーの代表理事・角居勝彦調教師と、ホースクリニシヤンの宮田朋典氏のお2人をゲストとしてお招きして馬と人の関わりについての講演がありました。



11月27日・28日。浦河町乗馬公園では「馬と人の幸せな関係の築き方～乗馬療育講座&実践研修～」を開催。どちらの会場にも真剣な受講者の姿がありました。

4、好評だった『乗馬療育シンポジウム』。来年2月11日(土・祝)には内容も新たに、東京国際フォーラムを会場に開催するそうです。



抽選会場を急きょ大ホールに変更したほど、来場者が延べ人数1500人と大盛況のレシート祭りでした。町内のフレンド幼稚園の園児によるダンスをはじめ、広く日高管内から T-danceschl、スノードロップス、BOSE、T-FREAKS、shinya dancing school、Glareなどたくさんの方のダンスチームがパフォーマンスを披露した会場風景。



地元の手で地元のイエを守る
『URAKAWA yamori』
- うらかわ ヤモリ -

町内で建築にたずさわる若者たちが協力し合い活動している『若手建築グループ』の仲間（神馬充匡さん・神馬建設(有)、松田剛之さん・マツダ(株)、大野啓輔さん・大野木材(株)）の3人を中心に、会の名前を改名して登場。なるほど、ヤモリ→家守ですか。ヤモリは古来から、生息地では人間に身近な存在で人家内外の害虫を捕食することからも家を守るとされ、家守(守宮)とも書かれるとか。地元の手で地元のイエを守る！これからの建築業を担い志を持つ若き後継者たちが、「家」に携わる業種の若者と勉強会を開き、取り組みを始めています。注目と応援を！

商店街や既存店の活性化につなげたい！
『浦河町レシート祭り』開催！



浦河商工会議所青年部主催
12月3日(土)総合文化会館ふれあいホール

今年、町内の商店主の顔がたくさん写ったポスターが素敵でした。中央最前列は、この3年間の青年部会長・福井秀一さん



観光協会との連携が進む中、アイヌ文化の伝承ワークショップも実現！

主催青年部の商業活性化委員長上埜友介さん(村上埜金物店)にお話を聞かせていただきました。せっかく足を運んでくれたお客様が抽選だけで帰ってしまったくないようにと、会場内の出店やタイムスケジュールなども昨年以上に工夫されたとか。なるほど、ダンスの発表を楽しんでいたお客様以外にも、いくつか用意されたワークショップにも楽しんで参加するお客様の姿がありました。



マックス

仕事の他、地域活動や学校関係役員なども大忙しの30代！

「まだまだこれからです。僕は、町や商店街に活気があった時代を知っています。あの頃の人の集まりのすごさと共に、先輩の商店主の方々が頑張っていた姿を見て育ちました。来年はもっとその先輩たちにも参加してもらいたいし、あのすごいおじさんたちから色々教えてもらいたいと思っています。」

商店街のこれからのことについて熱く語る上埜さんのお話を聞きながら、次の時代を担う若い商業主が協力して頑張っている浦河っていいな！とうれしく思いました。



会場には、日の丸弁当、梶田精肉店、マイクソーセージ、お料理 松山、浦河町イチゴ生産振興会青年部、六畳書房、若手建築グループ(うらかわヤモリ)、小野寺千穂デザイン事務所、地域おこし協力隊・辰巳遥さんと仲間によるばふんペーパープロジェクト、浦河アイヌ文化保存会、浦河商工会議所青年部イベント研究委員会が出店。賑わいを生み出していました。

音楽座 Presents Live Series
Jazz Night T. K. O. Live! JAZZってなあに?



12月2日(金) 浦河町総合文化会館 文化ホール

音楽は楽しい♪ 音楽を楽しもう！このすばらしいステージをもっと多くの方と一緒に楽しみたい。浦河で開催されるコンサートは、「高校生以下無料」という場合が多くあります。生の演奏を聴いて音楽を楽しんでもらいたいと願う大人たちからのプレゼントを、学生の皆さん、もっと利用して楽しみましょう♪



年末恒例の音楽座主宰のジャズコンサート。なんと今年は、地元の中学生や高校生と社会人や主婦の有志からなるグループも一緒にステージに上がって演奏しました。プロベシストの立花泰彦さんが浦河に移住してから5年。浦河を音楽であふれる町にしたい！という立花さんの思いが、着実にその輪を広げていると実感したコンサートでした。

最近読んだ
本の中より...



夕刻の静寂の中で、私は自分の背中に誰かの視線を感じた。振り向く。誰もいない。だが数瞬間のち、私の視線は境内の一点に吸い寄せられる。境内の木立の向こうに人が立っていてこちらをじっと見つめているのだ。兄が立っている。なぜかそんな思いが走ったのだ。私は目をこらす。しかしよく見るとそれは人影ではなく、一体の地蔵だった。(本文より)

『なにも願わない手を合わせる』

藤原新也著 (1944)

東京書籍(株) 発行

写真家の藤原新也さん。このコーナーで紹介するのは二回目になります。藤原さんは、父と母が亡くなったときの二度、四国巡りをされたそうです。そしてお兄さんが六十にならずしてこの世を去ったとき、三度目の巡礼の旅をしました。本書はその記録と、日々の出来事や人との出会いを記した随筆をまとめたものです。お兄さんはどんな方だったのでしょうか。

私にはその兄の壮絶な最期はまだに受け入れがたい。彼はその生前、私などには及びもつかないほど人徳を絵に描いたような生き方をした人だったからだ。なぜそのような人間がその最後に地獄の責めを受けなければならぬのか。私は今回の四国巡りの中でそういった不合理を納得するなんらかの回答を得たいという気持ちがあった。そして兄の死期の苦しみによって波だつたままおさまることのない私の心の

波風を、いくばくかでも鎮めたいという思いがあった。(本文)



旅の道すがら「何か悪いことでもしてきたのか？」と訊ねられたりしながら、著者は四国巡りを続けます。じつさに悪いことをした男や、足で遍路を続ける九十を過ぎた女性など行き交ううちに一人の幼女と出会います。その幼女が手を合わせ祈る姿と、「ああ、よくできたなあ。おりこうさん。」という母親の言葉を聞いたとき、著者の中でひらめくものがありました。

なにも願わない。そしてただ無心に手を合わせる。著者の藤原さんはさつそ

く次の寺からこれを実践に移しますが、「これがなかなか手強い。ひとすじなわけはいかない。」という経験があります。

人が手を合わせたとき、そこに願うというものがあれば人の心はそれに満たされる。願わないとなるとその空白の心に雑念が押し寄せた。たった十秒間でさえ人は「無心」を維持するのが難しいのだ。(本文)

なるほど、そうなのかもしれません。わたしのような不信心者も、今では毎朝、亡くなった義父に手を合わせます。このとき当然のように「お願いをしています。会社の人たちが今日一日無事であることと、子供たちに悪いことが起きないこと」の二つです。わたしはひねくれ者なので、結局お前は自分のためにそんなことを「お願い」しているのじゃないのか、と思うこともあります。こういう面倒くさい人間には無心で祈る境地

なにも願わない。そしてただ無心に手を合わせる。著者の藤原さんはさつそ



社長

など想像もつきませんが、著者も無心の祈りは「遠い将来のために温存しておく」ことになるのでした。そして願いを込めて次のように祈ることにします。その一節を最後に引用します。

海のような男になりたい。そのような祈りを込めて祈り始めたのだ。

私はこの旅を終え、再び俗世間に立ち戻る。そのまままず救いようもなく荒れ果てようとする人間の世紀の中で、どのような他社の不安や心の荒廃をも受け止め得る、海のように揺るがぬ人間になりたい。野辺の地蔵たちは、そんな祈りの姿のあることを私に気づかせてくれたのだ。私はそのように祈り始めた。

今も昔も・『小さな映画館』で楽しもう～♪年末年始、大黒座は話題作の連続上映！



資料提供 浦河町立博物館

- 『聖の青春』 12/24(土)～1/13(金)
- 『魔法つかいプリキュア』2本立て 12/23(金)～1/22(日)
*注:上映期間内の土曜・日・祝日のみ 朝10時・夕方4時の上映
- 『この世界の片隅に』 1/14(土)～2/10(金)
*注:1/14～20は夕方4時のみ。1/21～2/10は10時・1時30分・7時の3回
- 『シン・ゴジラ』 2/4(土)～

博物館に保存されている、故・星榮(若松屋の店主)さんが残した日常風景写真の一枚です。昭和35年撮影。上映作映画は何だったのかな?お正月頃の大黒座に、たくさん並んでいることもたちの姿です。足元はみーんな長靴ですね。この頃の上映は3本立て。ずらりと並んだ映画スターの顔看板からも、とにかく映画が娯楽だった時代の空気が伝わってくる写真です。



実に簡単。それでいて豪華なおにぎらず！



ガスでおいしくクッキング！



手軽で簡単な「おにぎらず」

「そもそも、これが料理と言える？」なんて声もあったほど。それほど簡単にできる握らないおにぎり「おにぎらず」なんです。具材もうーんと自由でいいはず。まずは、ごはんと海苔と前日のおかずで作って見て下さい♪



●材料

- 海苔 適量
- ごはん お好みの量
- しそわかめのふりかけ(塩でOK！)
- いり玉子 適量
- ほうれん草のおひたし 適量



レタスと一緒にフライやソーセージ、塩サケなど、具材は何をのせても大丈夫。配色も楽しんで〜♥

●作り方

- 1、海苔の中央にごはんを広げ、塩パラパラ。
*今回は、塩の代わりにしそわかめのふりかけをパラパラ
- 2、具を置く。今回は甘めのいり玉子とほうれん草のおひたし。(好きな具材のをせて楽しんで下さい)
- 3、さらにごはんを重ねて塩パラパラ。
*今回はしそわかめの塩分だけで、パラパラは無し！
- 4、四隅を中央へ集めるようにたたみ、ラップごとくるんで海苔がしんなりするまで置く。→ラップごと包丁で切る。
*切るたびに包丁をぬらして拭くと、きれいに切れます。



基本は、「お皿の上にラップを敷いて、海苔、塩、ごはん、具材、ごはん、塩そして、海苔を折りたたみラップできっちり包む」。ごはんや具を入れ過ぎると、海苔が足りなくなってパンクします。

「作ってみる？」とマックスに声を掛けられて、早速トライ！さすがです。すぐに上手に出来ちゃったね〜



おにぎりの仲間に加えてね^^

試食した人	今日の料理は★いくつ？(最高★3個?)
社長 (2.2)	★★ おにぎらずはおいしいんだけどさ。マヨネーズと醤油を間違えた自分に、まず減点。それと、お昼前に我慢できなくて肉まんを買って食べたんだよね。そこでも減点。
村下社長 (3.0)	★★★ シソ、好きなんですよねー。美味しかった。
エイジくん (3.0)	★★★★ おかずも一緒にたべれるし、おいしいよ。
恭平くん (3.0)	★★★★ 豪華ですよ。山に登る時もいいですね。
ケiskeくん (3.0)	★★★★ 簡単に作れておいしいですね。
ばわふる (2.3)	★★★ うわ〜っつ！シソ！シソの味が...
マックス (3.0)	★★★★ きんぴらや焼肉など、味の濃いものと野菜を入れたり・色々試しておいしく食べて〜



社長のちよいと長ぐ「コラム」

年収め
僕の青春のサウンドトラック：3

9月号で転校生関口君のことを書きました。わたしが中学一年のとき洋楽への扉を開いてくれた同級生です。おかげで10代の後半は、洋楽三昧の日々を送ることにになり、同じ洋楽ファンの仲間も出来てきました。レコードを貸し合ったりする友達です。今回はわたしに多大な影響を与えたNくんとMくんのことを少し書きましょう。

Nくんとは何度かこのコラムで書いたことがあります。彼の部屋に遊びに行くと、本棚にサド侯爵の『悪徳の栄え』や沼正三の『家畜人ヤプー』があつたりしたので、そこから、変わった中学生です。ベルベツト・アングラーグラウンドやルー・リードのレコードを持っていて、わたしが聞いていたサイモンとガーファンクルと較べると、まことに怪しく、いかかわしさが全開の音楽でした。デビッド・ボウイを聴かせてくれたのもNくん。『ジギー・スターダスト』は彼の部屋で何度も聴きましたね。今でも大好きです。『ダイヤモンドの犬』までのボウイは、Nくんのレコードで聴いたと思います。だからボウイのアルバムは一枚も持っていませんでした。わたしにとつてボウイは『ロウ』でも『レッツ・ダンス』でもなく『スターマン』を歌っていたボウイです。

Mくんもわたしに影響を与えた男です。彼はイギリスの音楽が好きでした。ロキシー！

(そのうち続く)

ミュージックのデビュー作を聴かせてくれましたねえ。ロキシーは好きでしたが、なにしろアルバム・ジャケットがとんでもなかった。わたしには買う勇気(笑)がありませんでした。Mくんが聴かせてくれたバンドで忘れたいのは、EL&Pです。『展覧会の絵』を聴かせてもらって、おおーつと感動したのですが、『トリロジー』というアルバムが一番好きでした。グレッグ・レイクの歌が好きだったんです。彼の声が好きで、バラードをよく聴いたものでした。EL&Pのアルバムは、これまた全てMくんのレコードで聴いたはずなんです。だから、一枚も持っていませんでした。グレッグ・レイクが参加したキング・クリムゾンのあの名盤2枚も彼らに聴かせてもらったのですが、記憶があいまいでどちらが所有していたのかは思い出せません。まあ、45年も前のことですから(笑)。

そんな早熟なNくんとMくん比べると、素朴でアメリカンなサウンドを愛していたわたしですが、彼らも認めるシブイレコードを一枚持っていました。それはレオン・ラッセルの『カーニー』です。レオン・ラッセルという人は、サザンの桑田佳祐氏に多大な影響を与えたと思われる偉大なロック歌手なのですが、この『カーニー』というのは地味で静かなレコードなのです。しかし今聴いても、とびきりの名曲揃いです。有名なのは『マスカレード』という曲でしょうか。デビッド・ボウイ、グレッグ・レイク、同じバンドのキース・エマソン、そしてレオン・ラッセル。みんな今年亡くなりました。あこがれたミュージシャンの訃報を聞くたびに、さみしい気持ちになりますね。彼らの音楽を同時代に聴けたのは幸せでしたが、残された音楽はこれからもずっと聴いていくと思います。ありがとう。

さのばわふる日記



私の高校のクラス会は四年に一度、オリンピックと同じ年に開催することにしていて、今年も懐かしい友に会ってきました。その時のおはなし...

二次会に行き、カウンターに座っていた私の後ろから女友達が私の肩をバンバンと叩くのです。振り返ると「いや〜あまりにも遅しくて〜」と大笑いしています。まるでお相撲さんの取組が終わり花道を帰って行く時に観客が肩をバンバンとしている感じです。それを聞いて、隣に座っていた男友達が、「前足だな!」と発言。確かに私の腕はたくましく太い!でも前足だなんて。それ以後、私の腕は前足となりました。

先日もお客様の窓拭きに行った時、相棒のさつちゃん「あの一番上はどうやって拭くの?」と聞くので、「長い脚立の上にながらないとならないんだよ」と私。「えっ!そんなの無理〜」と言っていたさつちゃんが脚立を準備すると、自ら「私が上がります!」と仰ぐのです。山型の脚立の両サイドに同じ体重の私達がバランスを取りながら上がり、足が震えると言いがら一番上に立とうとするさつちゃんに、「大丈夫、私の前足に掴まって」と言うと、「お願いだから笑わせないで〜」と果敢に挑んださつちゃんでした。

そして事務所に遊びに来たYちゃん、私は事務所のお掃除中。当然、手伝わされる羽目に...。「コンセントどこ?」「そこの間にあるよ」すると、悪戦苦闘しているYちゃんに、「あら〜狭くて前足が入らなかつたね〜」。洋服の試着をしても、「腕のところがちよつと窮屈かな」と言うので、「あ〜前足の部分ね」と何かと会話に出る「前足」。

どうしたら細くなるの? か細い腕に憧れる〜。でも、このたくましい前足のお陰で元気に仕事も出来ます。皆様、来年もこの前足にお任せ下さい! お役に立ちますよ(笑)

拙いばわふる日記、今年も読んでいただきまして、ありがとうございます。来年も頑張ります。

発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

冬季期間(10月~3月) 定休日: 日曜・祝祭日 営業時間 8:30~6:00 土曜3:00



編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3500部

【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com

【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください

〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3

TEL 0146-22-5123